

2021 春季生活闘争勝利へ!!

事業の継続と雇用を守り、そして具体的な改善を勝ち取る!!

私たちが未来を変える!

「誰もが希望を持てる社会を実現! 安心・安全に働ける環境整備と 『底上げ』『底支え』『格差是正』で」

【2021 春季生活闘争に向けて】

連合山形置賜地域協議会

議長 佐藤浩昭



日頃からの連合置賜運動に対するご理解とご協力に感謝申し上げます。

連合山形は2月10日「2021 春季生活闘争開始宣言」を採択し、昨年開催できなかった「春季生活闘争勝利総決起集会」を3月6日に開催してまいりましたが、いっぼうで連合置賜地協は従来開催してきた「春闘学習懇談会」をコロナ感染防止の視点から「断念・見送り」といたしました。

各構成組織においても2021 春季生活闘争の具体的な闘い方に「ご苦労」されていることと存じます。コロナ終息までこれまでの「闘争スタイル」や「運動スタイル」は出来得ないものと判断しますし、各構成組織の闘い方を集約し、全体化を図ることが「連合」の運動づくりに向けた任務ではないのかとも考えております。

現在コロナ禍において、業種による企業間「格差」をはじめ、様々な「格差」が更に拡大をしております。厳しい条件下での闘いになることは必至ですが、まずは事業の継続と雇用を守り、すべての働く者の処遇改善につながる春季生活闘争としていかなければなりません。

その上に立って「格差是正」にむけた社会制度を確立していくための「政治闘争」に結び付けていく必要があります。厳しい時代だからこそ、労働組合の必要性が増していることとは言うまでもありません。労働組合が動かさずして、職場や社会の未来が変わるはずがありません。

「私たちが未来を変える」という思いを秘めながら、未来につなげるための運動を共につくり上げていきましょう。

2021春闘学習懇談会は開催を断念

毎年各地区に事務局がお邪魔して開催しておりました「春闘学習懇談会」は、年明け以降、新型コロナウイルス感染症の猛威が全国的に急拡大し、国の緊急事態宣言が再発出されるなどした為に断念せざるを得ませんでした。

コロナ禍における厳しい環境下であっても、働くものの安全衛生改善や労働条件の向上をめざすべく、支援議員団との情報共有も兼ねた学習会の開催に向け幹事会で議論を重ねたものの、学習会資料の展開による連合方針の確認に留まり、大変不本意な結果となってしまいました。

2022年、改めて開催すべく準備を進めて参りますので、その際は是非ご参加いただけます様宜しくお願い申し上げます。

2021構成組織春闘情勢調査結果のご報告

ご案内のとおり、2021春闘学習懇談会は新型コロナウイルス感染症感染防止の観点からやむなく開催見送りとしましたが、2013年度より毎年ご協力いただいております置賜地協構成組織の「2021春闘情勢調査」は継続して取り組む事と致しました。

連合山形2021春闘方針確立を待っての取り組みとなった為例年よりも1ヶ月ほど遅れての情勢調査となりましたが、今年度も春季生活闘争に取り組むにあたり企業情勢や各種春闘方針についての回答をお寄せいただきましたので、各項目における推移も併せて以下にご報告申し上げます。

時節柄、春闘交渉山場を迎える構成組織や、これからの取り組み準備を進める大変お忙しい中においてご回答いただきました構成組織の皆さまに対しまして、改めて心から感謝申し上げますと共に次年度以降も引き続きご協力賜われます様宜しくお願い申し上げます。

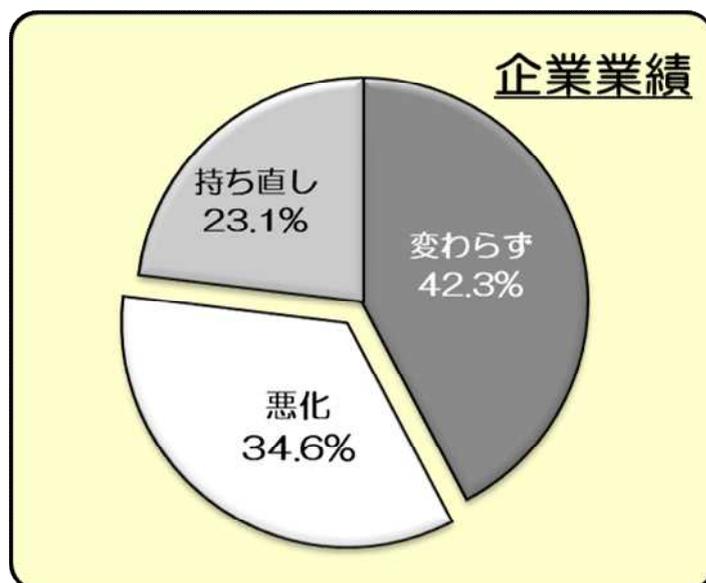
【参考値】	置賜地協構成組織数	回答数	回答率（昨年比）
	61組合	26組合	42.6%（9.8%減）

取り組み期間：2021年2月17日（水）から3月5日（金）にかけて実施

企業業績について

昨年同時期と比較した自組織の企業業績については、「変わらず」と答えた組合が42.3%（昨年比18.3ポイント減）を占めた。

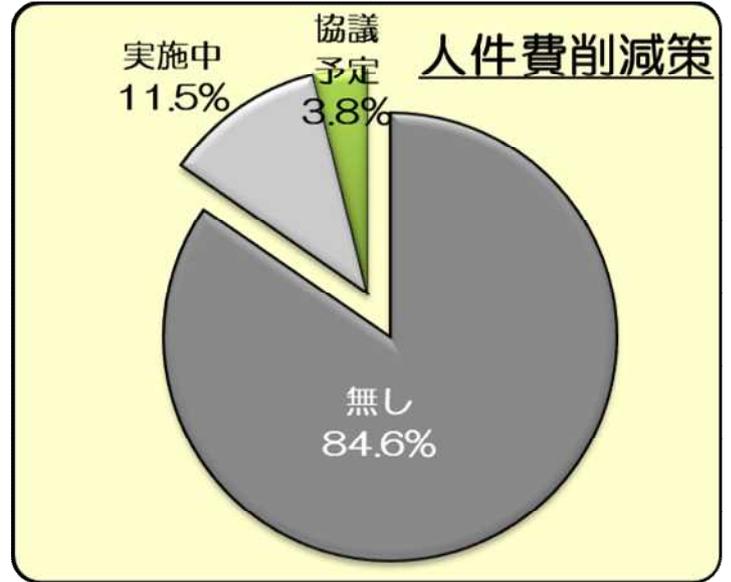
但し、「持ち直した」と答えた組合は23.1%（昨年比4.9ポイント増）となった一方、「悪化した」と答えた組合も34.6%（昨年比13.4ポイント増）となっており、コロナ禍によって著しく低迷した消費からの反動によって受注が増えている企業がある反面、特にサービス関連を中心にコロナの影響が大きく響いている企業が増加傾向にあり、以前にも増して置賜地域における企業業績の地域間格差が進んでいる傾向とも受け取れる。



人件費削減策について

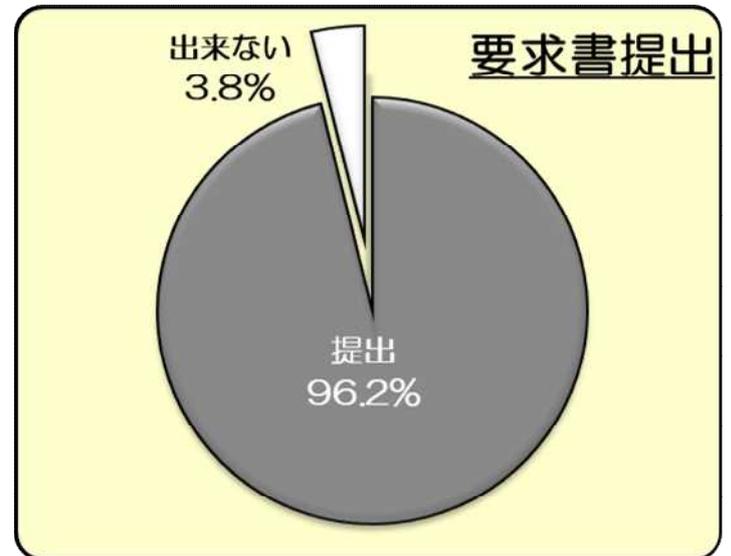
企業業績の悪化に対する会社施策として、賃金カットや早期退職施策、営業拠点の再編等の人件費削減策の実施有無について「無し」と答えた組合が84.6%（昨年比0.2ポイント増）を占めた。

一方、何らかの施策を「実施中」と答えた組合は11.5%（昨年比5.4ポイント増）と増加しており、また、「今後協議予定」と答えた組合も3.8%（昨年比5.3ポイント減）あることから、企業業績の悪化から何らかの施策を受け入れざるを得ない組合が昨年同様増加傾向である事が伺えた。



要求書の提出について

2021春季生活闘争に取り組むにあたり、「要求書を提出する」と答えた組合は、全体の9割強となる96.2%（昨年比8.3ポイント増）となった一方、「提出出来ない」と答えた組合が3.8%（昨年比5.3ポイント減）となった。連合山形が従来から取り組みを強化している要求書提出の重要性が浸透している結果ともなったが、賃金交渉の他にも、感染対策などの職場環境改善要求なども今次春闘における重要課題であるとの回答も複数有り、今後、連合として様々な角度からの情報提供など支援対策を講じていかななくてはならない。

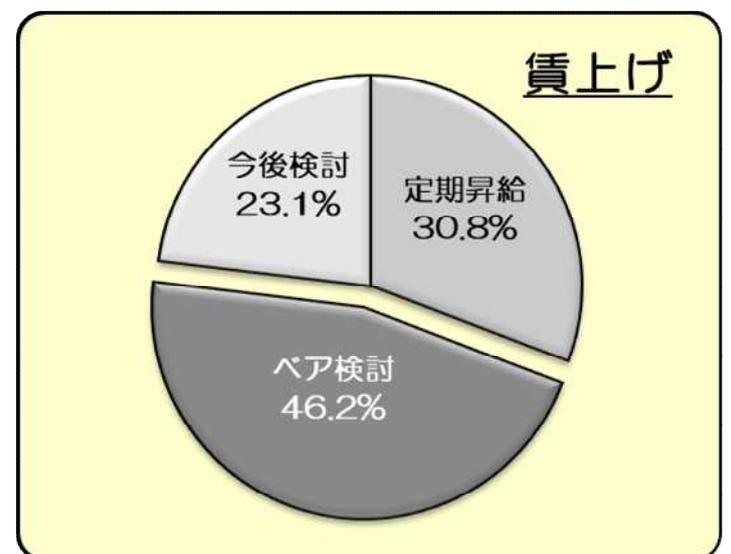


賃上げ要求の取り組みについて

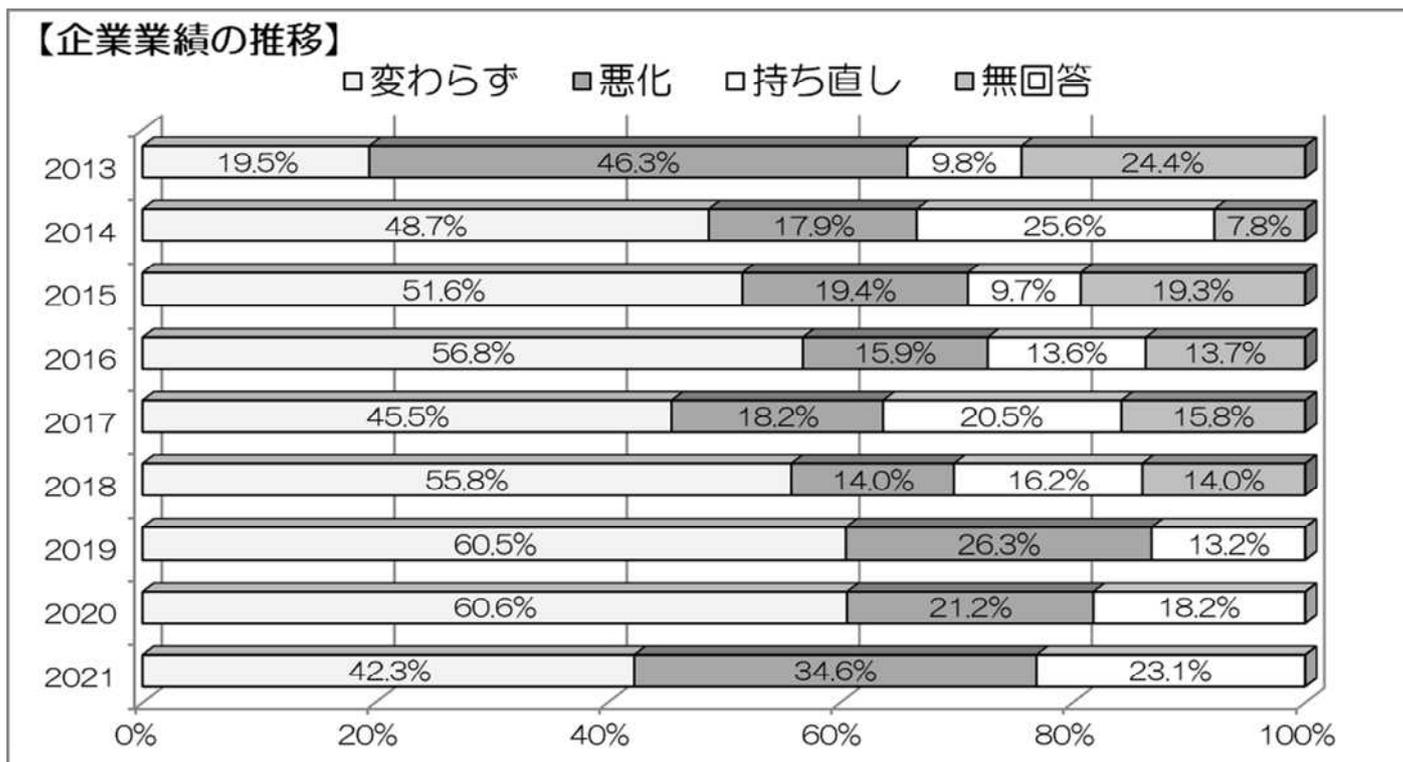
最後に、ベースアップ等の賃金引上げの取り組みについては、「ベア検討」が46.2%（昨年比12.9ポイント増）となった。

一方、ベア要求を断念し、「定期昇給（賃金構造の維持）」と答えた組合が30.8%（昨年比12.6ポイント増）となり、ベア要求を断念し雇用の維持を優先した結果であると同える。

尚、「今後検討」と答えた組合が23.1%（昨年比25.4ポイント減）となったが、調査時期が例年よりも1ヶ月ほど遅れた事も有り、今回の調査の段階では既に多くの組合が要求内容を確立させていた結果と考える。



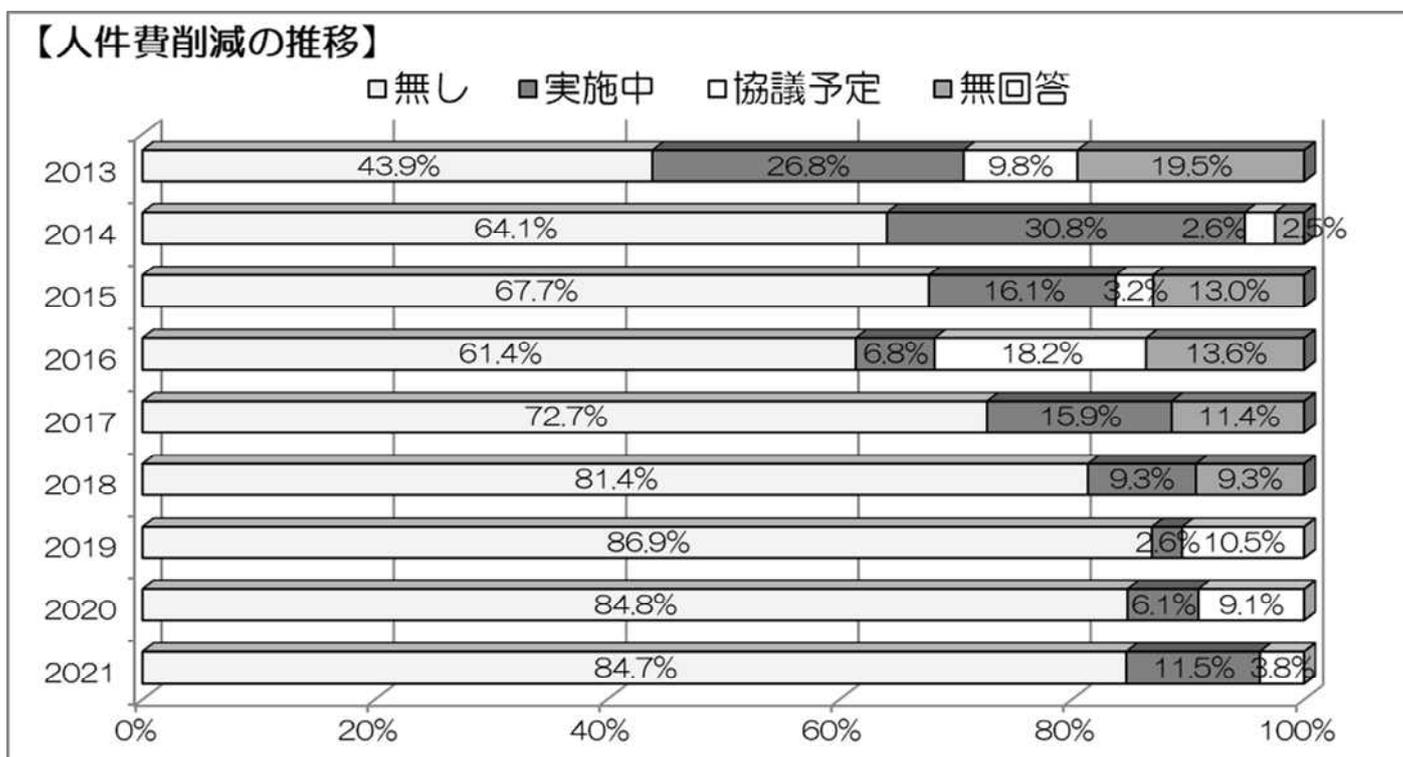
【調査を始めた2013年からの「企業業績」に関する推移】



■ 2021年はコロナ禍の影響が大きく影響

- ・2018年から企業業績は「変わらず」とした回答が6割程度あったが、2021年はコロナ禍による経済の冷え込みによって4割に低下し、「業績の悪化」が急増した。

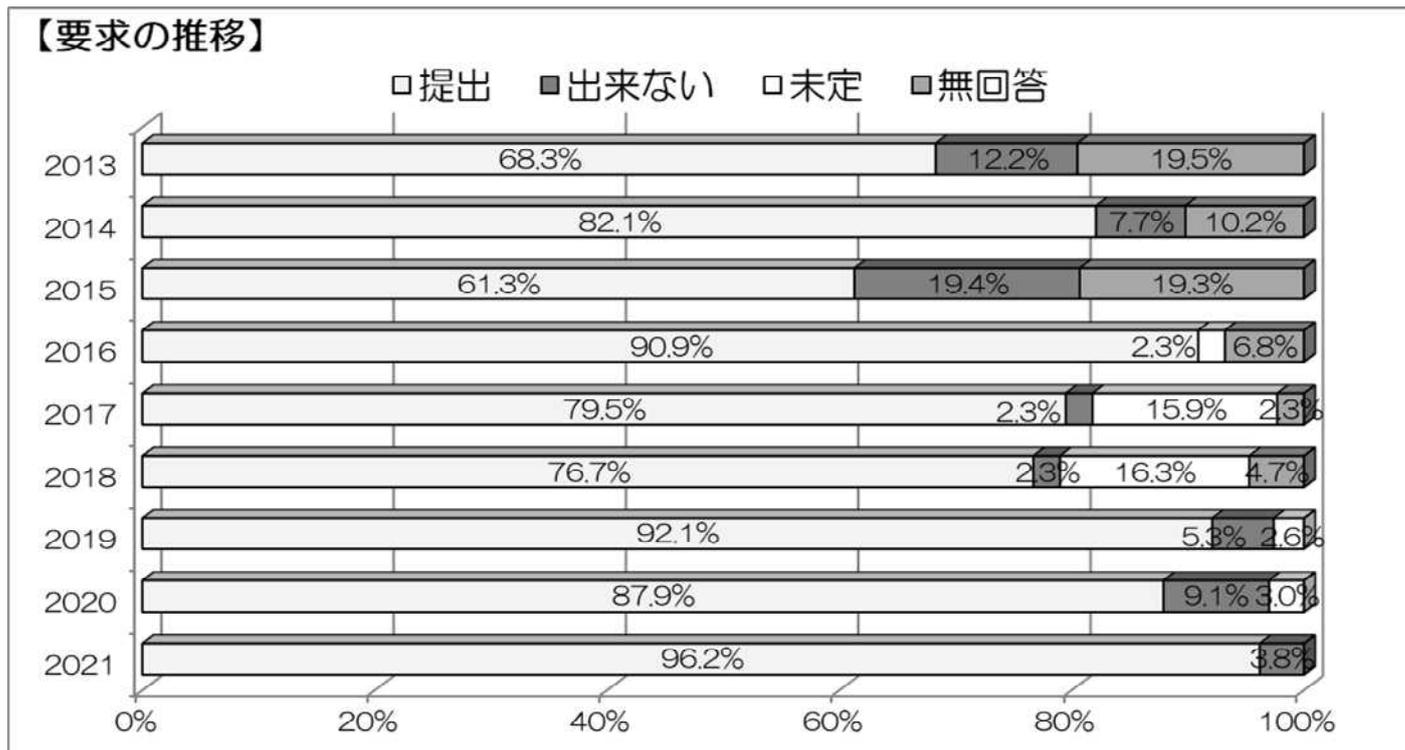
【調査を始めた2013年からの「人件費削減」に関する推移】



■ 人件費削減策実施の組合が増加

- ・企業業績の悪化によって人件費削減策を受け入れざるを得ない組合が2020年に比べ急増しており、雇用維持の為連合としても当該組織と連携を密にし対応していかなくてはならない。

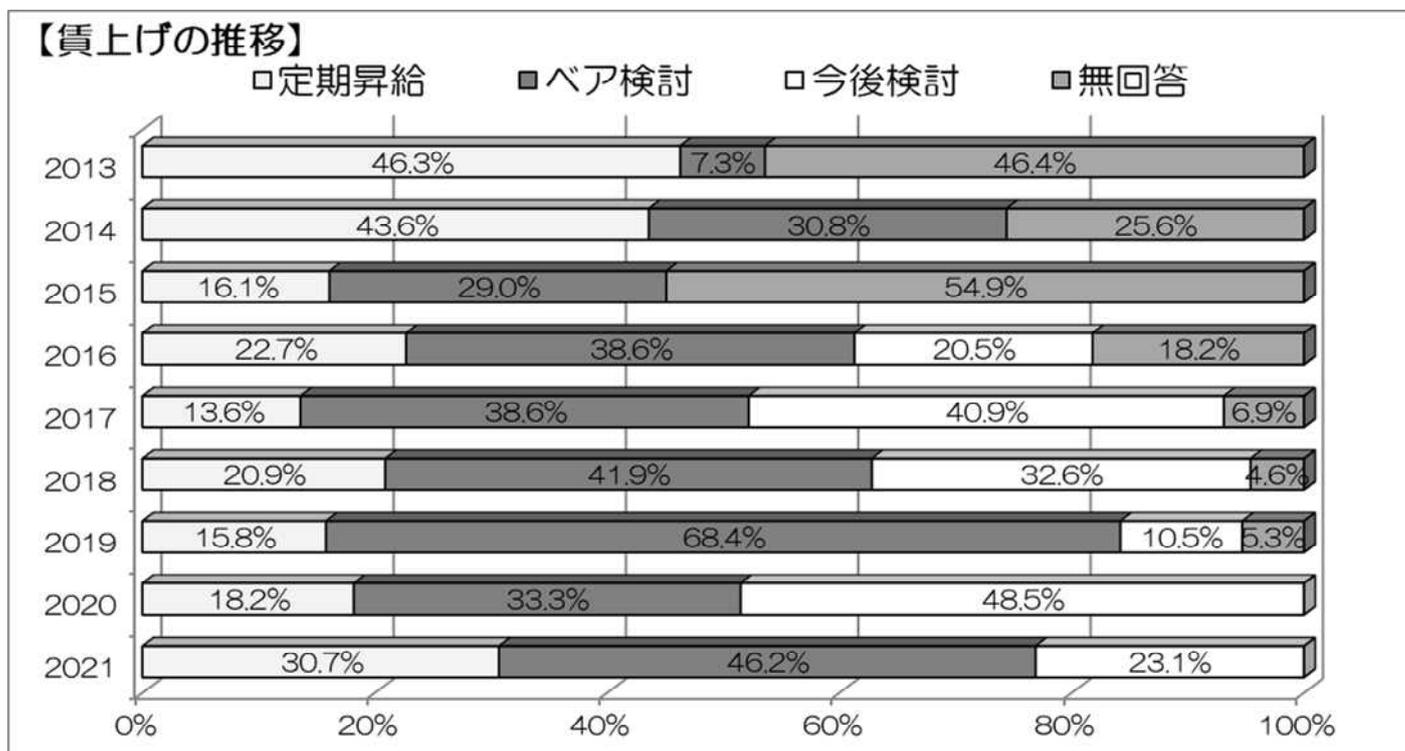
【調査を始めた2013年からの「要求書提出」に関する推移】



■要求書提出は過去最も高い水準

- ・2020年は要求書を提出出来ない組合が増したが、新型コロナウイルス感染症の影響もあって職場環境の改善要求も重要性が増し、調査以来過去最高の結果となった。

【調査を始めた2013年からの「賃金の引き上げ」に関する推移】



■雇用の維持を最優先とした方針が増加

- ・これまで「定昇確保」要求に留め雇用の維持を最優先とせざるを得ない組合が一定水準あったが、コロナ禍における企業業績の先行き不透明感が増し賃金改善要求までに至らない傾向が伺える。

連合山形2021 春季生活闘争勝利「総決起集会」を開催!!

連合山形は2月10日に開催した第3回執行委員会において春闘方針を確立し、「誰もが希望を持てる社会を実現! 安心・安全に働ける環境整備と『底上げ』『底支え』『格差是正』で」をスローガンに掲げ、「分配構造の転換につながり得る賃上げ」を実現する為、全力で闘うことを意思統一しました。

連合山形は、今春季生活闘争における要求実現に向けた意思の結集と組織内外へのアピールを図る為、デモ行進を見送りつつ、集会における参加規模の半減や会場換気、飛沫予防措置や消毒徹底などの新型コロナウイルス感染症感染予防対策を十分講じたうえで、「2021 春季生活闘争勝利! 総決起集会」を3月6日(土)400名規模で開催しました。

※前段の連合山形女性委員会・青年委員会春闘学習会は感染予防の観点から中止となりました

- 日時 3月6日(土) 13:30~15:00
- 場所 山形市 山形市民会館「大ホール」にて
- 内容 ① 主催者挨拶(連合山形小口会長)
② 連合本部挨拶(DVDメッセージ:神津会長)
③ 情勢報告(連合山形館内事務局長)
④ 決意表明(JAM・JR総連・自治労・青年委員会より)
⑤ 「3.8 国際女性デー」アピール(女性委員会)
⑥ 集会アピール採択(連合山形佐藤副会長)
⑦ 第49回衆議院議員選挙候補予定者紹介(加藤健一氏)
⑧ 団結ガンバロー(連合山形小口会長)



※冒頭、東日本大震災犠牲者への黙祷



(主催者挨拶: 連合山形小口会長)



(連合本部よりDVDメッセージ: 神津会長)

第49回衆議院議員選挙山形2区

候補予定者「加藤健一氏」連合山形推薦決まる!!

2021年10月21日に任期満了を迎える衆議院議員については、いつ解散総選挙（第49回衆議院議員選挙）が行われるのか未だ決まっておりません。

連合山形は、1月8日（金）に開催された第2回執行委員会において第49回衆議院議員選挙対応方針を確認し、併せて山形2区から立候補予定の新人「加藤健一」氏を推薦決定致しました。

第49回衆議院議員選挙は、社会・経済に極めて大きな影響を与えた新型コロナウイルス感染症におけるコロナ禍という国家的危機を克服し、安心して持続可能な社会を展望することができるわが国の将来ビジョンをいかに描くかが重要な争点となります。連合山形は、こうした認識の下、政策・制度の実現のため支援政党（国民民主党・立憲民主党）の勢力拡大と推薦候補者全員の勝利に向け、構成組織・連合山形・各地域協議会が一丸となり、総力を挙げて取り組む事を確認しております。

※山形1区・3区については立憲民主党が主体となり五者会議で候補予定者を擁立する事としておりますが、現時点では未定となっております

先に行われた山形県知事選挙では、皆さまの絶大なお力添えによって現職の吉村美栄子氏4期目の当選を圧倒的な差で勝ち取る事が出来ましたが、知事選同様、引き続き皆さまからの絶大なるお力添えをお寄せくださいます様宜しくお願い申し上げます。

第49回衆議院議員選挙山形2区候補予定者

かとう けんいち

加藤 健一（40歳・国民民主党公認・新人）連合山形推薦

【略歴】

- ・1980年11月 南陽市生まれ
- ・1999年 3月 山形県立長井工業高等学校卒
- ・2001年 秋 筋ジストロフィー診断を受け車椅子生活
- ・2006年 3月 株式会社三陽製作所入社
- ・2014年 1月 ボランティア団体グラッティテュード設立
- ・2015年10月 車椅子でのパラグライダーを経験
- ・2016年 4月 （一社）山形バリアフリー観光ツアーセンター設立・代表理事
- ・2018年 3月 （株）夢源設立 代表取締役
- ・2020年10月 東京大学 先端科学技術研究センター協力研究員



連合山形2021 春季生活闘争総決起集会にて

「加藤健一氏」より挨拶を受けました

3月6日（土）に山形市民会館で開催された連合山形2021 春季生活闘争総決起集会において、第49回衆議院議員選挙山形2区候補予定者「加藤けんいち」氏より、参集した構成組合員の皆さんへ推薦の御礼と立候補にあたっての決意表明を述べていただき、最後に連合山形小口会長の音頭によって2021 春闘勝利と第49回衆議院議員選挙必勝を力強く誓い合いました。



（総決起集会にて加藤けんいち氏より推薦の御礼と決意表明のご挨拶）



（春闘勝利!!衆院選必勝!!ガンバロー三唱）



（集会終了後、置賜地協佐藤議長と）

現時点で第49回衆議院議員選挙（解散総選挙）は未定となっておりますが、任期満了が本年10月21日であり、必ず今年行われます。

新人であり、知名度向上の為に、是非皆さんにご挨拶させていただきたいと思っておりますので、今後様々な場においてご紹介の機会を設けていただけます様、宜しくお願い申し上げます。

尚、お問い合わせにつきましては、連合置賜地協事務局佐藤までお願いいたします。

【お問い合わせ先】連合置賜地協事務局 ☎0238-23-0551